

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
都 市 計 画		
スマートシティの脅威	加藤やすこ	緑風出版
まちづくりの統計学 政策づくりのためのデータの見方・使い方	宇都宮浄人(編著) 足立基浩(著)ほか	学芸出版社
観 光		
観光による地域活性化 —サステナブルの観点から—	才原清一郎	創成社
そ の 他		
政策リサーチ入門 仮説検証による問題解決の技法	伊藤修一郎	東京大学出版会
MICE入門編 日本再興のカギ	株式会社コンベンション リンケージ(編著)	ダイヤモンド ・ビジネス企画
複雑化の教育論	内田樹	東洋館出版社
地域を支えるエッセンシャル・ワーク —保健所・病院・清掃・子育てなどの現場から—	山谷清志(編著) 藤井誠一郎(編著)	ぎょうせい
イノベーションの再現性を高める新規事業開発 マネジメント	北嶋貴朗	日本経済新聞出版
やさしくわかる！公務員のためのSNS活用の教科書	佐久間智之	学陽書房
IRベーシックブック IRオフィサーのための基礎情報 2021-22年版	佐藤淑子(監修) 日本IR協議会(編)	日本経済新聞出版



日常に音色を



和歌山城の桜につぼみがつき始め、春らしさを感じるようになってきました。春といえば、卒業、入学、就職、引っ越しなど、学生や社会人にとって日常生活に変化があるシーズンです。出会いがあり、別れがあり、これまでとは違った新しい生活にワクワク、ドキドキしているのではないのでしょうか。

私自身は特に日常生活に変化はありませんが、一つ挙げるとしたら「カリンバ」という楽器に出会ったことです。カリンバの音を初めて聞いたときは、とてもワクワクしました。澄んだような綺麗な音色で温かみがあり、落ち着いた音でした。私は楽譜を読むことが得意ではありませんが、弾いてみたいという思いだけで、今、カリンバに挑戦しています。カリンバの演奏は思った以上に難しく、なかなかきれいな音を鳴らすことはできませんが、いずれは友人たちと一緒に演奏できれば良いと思っています。そんなカリンバはアフリカの楽器で、サムピアノ又はハンドオルゴールとも呼ばれています。板や木箱に幾つかのピンが付けられた、持ち運びのしやすい小さな楽器です。取り付けられたピンを親指ではじいて演奏しますが、形状や素材の種類、ピンの数に至るまで決まりはないようです。きっと一つ一つ違った音色があり、その違った音色を楽しむ楽器なのでしょうね。

さて、歴史を振り返ると、紀州徳川家にもゆかりのある和楽器がたくさんあります。様々な儀式的催しには、西浜御殿や西ノ丸、湊御殿などに舞台を設置し、笙、横笛、琵琶、箏、和琴、鞆鼓、釣太鼓など、たくさんの和楽器を用いたとされています。これらの楽器は、十代藩主である徳川治宝(はるとみ)が雅楽に大きな興味を示したことにより集められたもので、自らも和琴や琵琶を演奏して楽しんでいたそうです。

そんな当時の和楽器は、千葉県にある国立歴史民俗博物館で多くが保管されているようです。今は特別展以外でなかなか見ることができないようですが、もし和歌山でそのような機会があれば、ぜひ見てみたいと思います。



カリンバです

